

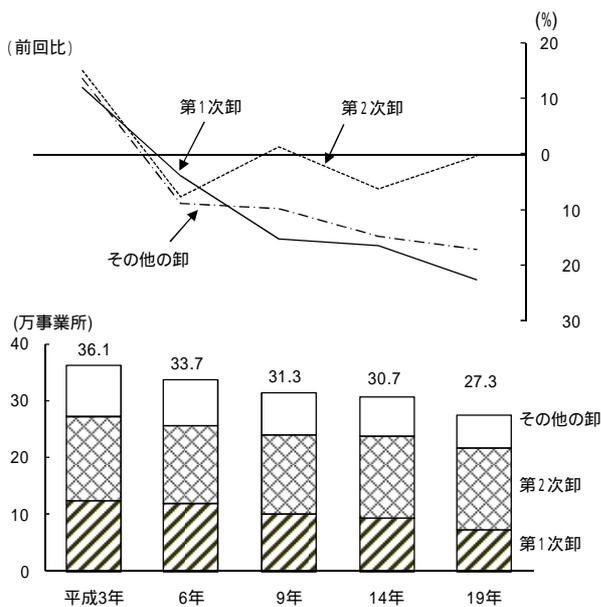
平成19年商業統計 流通経路別統計編(卸売業)

< 抜 粋 >

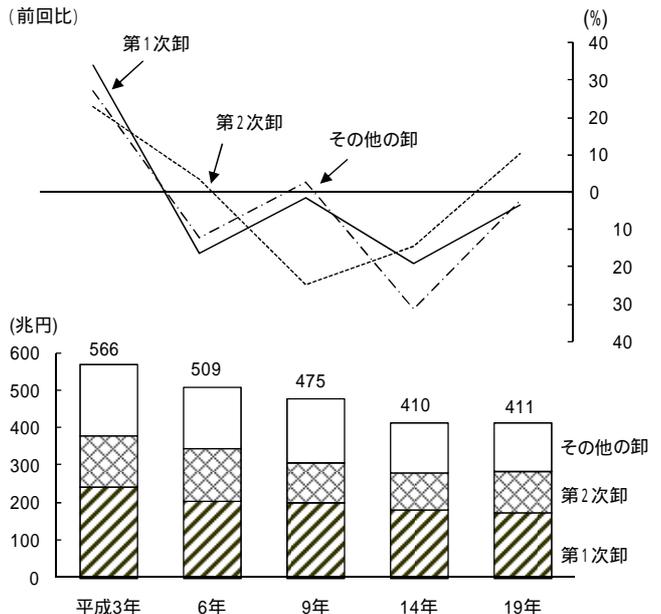
平成21年2月27日
 経済産業省経済産業政策局
 調査統計部

～年間商品販売額は、流通段階の「最終卸」、
 「販売先が同一企業内本支店である卸」などが増加～

卸売業の流通段階別事業所数の推移



卸売業の流通段階別年間商品販売額の推移



(注) 平成11年、16年調査は簡易調査のため、流通経路別統計編を作成していない。従って平成14年の前回は対平成9年比である。なお、平成11年調査において事業所の捕そくを行ったため、前回数については時系列を考慮したもので計算している。

1. 卸売業(法人)の状況

- (1) 事業所数は27万3406事業所で前回(平成14年)比▲10.9%と平成6年調査以降4調査連続で減少。流通段階別にみると、「第2次卸(主な仕入先は卸売業者)」は14万3693事業所で「第2次卸」に格付けされた事業所が52.6%と過半を占め最も多く、「第1次卸(主な仕入先が生産者または国外)」は7万1802事業所で同26.3%、「その他の卸(主な仕入先が同一企業の本支店)」は5万7911事業所で同21.2%となった。
- (2) 年間商品販売額は411兆1744億円で前回比0.2%と4調査ぶりの増加。流通段階別にみると、「第1次卸」は172兆2800億円、卸売事業所の41.9%を占めており、「第2次卸」は110兆9469億円、構成比27.0%、「その他の卸」は127兆9475億円、同31.1%となった。
- (3) 従業者数は335万8579人で前回比▲11.4%減と引き続き減少。流通段階別にみると、「第1次卸」は、105万753人、構成比は、31.3%、「第2次卸」は、145万5951人、同43.4%、「その他の卸」は、85万1875人、同25.4%となった。

流通経路別統計編は、平成19年6月1日現在で実施した商業統計調査結果のうち、卸売業を営む法人組織の事業所について流通経路別に再集計したものである。なお、卸売事業所全体(33万4799事業所)に占める法人組織の割合は、事業所数で81.7%、年間商品販売額で99.4%となっている。

流通段階別にみた卸売業の事業所数、年間商品販売額、従業者数

流通段階	事業所数				年間商品販売額(百万円)				従業者数(人)			
	平成14年	平成19年	構成比(%) 平成19年	前回は(%) 19年/14年	平成14年	平成19年	構成比(%) 平成19年	前回は(%) 19年/14年	平成14年	平成19年	構成比(%) 平成19年	前回は(%) 19年/14年
卸売部門計	306,904	273,406	100.0	▲ 10.9	410,203,841	411,174,396	100.0	0.2	3,792,641	3,358,579	100.0	▲ 11.4
・第1次卸計	92,745	71,802	26.3	▲ 22.6	178,461,186	172,280,009	41.9	▲ 3.5	1,338,581	1,050,753	31.3	▲ 21.5
直取引卸計	62,311	47,630	17.4	▲ 23.6	127,704,077	129,237,641	31.4	1.2	920,796	731,975	21.8	▲ 20.5
元卸計	30,434	24,172	8.8	▲ 20.6	50,757,109	43,042,367	10.5	▲ 15.2	417,785	318,778	9.5	▲ 23.7
・第2次卸計	144,221	143,693	52.6	▲ 0.4	100,758,257	110,946,851	27.0	10.1	1,451,654	1,455,951	43.4	0.3
中間卸計	43,468	43,174	15.8	▲ 0.7	38,705,864	38,112,588	9.3	▲ 1.5	446,784	440,715	13.1	▲ 1.4
最終卸計	100,753	100,519	36.8	▲ 0.2	62,052,392	72,834,263	17.7	17.4	1,004,870	1,015,236	30.2	1.0
・その他の卸計	69,938	57,911	21.2	▲ 17.2	130,984,398	127,947,537	31.1	▲ 2.3	1,002,406	851,875	25.4	▲ 15.0
販売先が同一企業内本支店である卸	1,772	1,610	0.6	▲ 9.1	9,539,361	18,912,117	4.6	98.3	55,245	84,823	2.5	53.5
仕入先が同一企業内本支店である卸	67,475	55,932	20.5	▲ 17.1	121,312,802	108,968,127	26.5	▲ 10.2	939,760	762,637	22.7	▲ 18.8
仕入先が自店内製造品である卸	691	369	0.1	▲ 46.6	132,235	67,293	0.0	▲ 49.1	7,401	4,415	0.1	▲ 40.3

2. 流通経路別にみた卸売業(法人)

(1) 第1次卸の動向

- ・事業所数は前回は▲22.6%減、年間商品販売額は同▲3.5%減、従業者数は同▲21.5%減といずれも減少となった。

事業所数

- ・「第1次卸」の7割近くを占める「直取引卸(主に生産業者または国外から仕入れ、卸売業者以外の需要者へ販売)」が前回は▲23.6%の減少、「元卸(主に生産業者または国外から仕入れ、卸売業者へ販売)」は同▲20.6%の減少。
- ・減少寄与が大きいのは、生産業者から仕入れ小売業者や産業用使用者へ販売する経路。
- ・仕入先を国内取引と海外取引に分けると、「第1次卸」の8割を占める「国内仕入(生産業者仕入)卸」は前回は▲26.0%の減少、一方、「国外仕入(輸入)卸」は事業所数は少ないながら同4.4%増と前回調査に続き増加。

年間商品販売額

- ・「第1次卸」の7割を占める「直取引卸」は前回は1.2%の増加、「元卸」は同▲15.2%の減少。
- ・減少寄与が大きいのは、生産業者から仕入れ産業用使用者へ販売する経路。
- ・仕入先を国内取引と海外取引に分けると、「第1次卸」の8割を占める「国内仕入卸」は、ウエイトの高い産業用使用者への減少などから前回は▲11.9%の減少、「国外仕入卸」は「産業用使用者へ」、「小売業者へ」などが増加となったことから同86.1%の大幅な増加。

従業者数

- ・「第1次卸」は「直取引卸」が前回は▲20.5%の減少、「元卸」が同▲23.7%の減少とともに引き続き減少。
- ・減少寄与が大きいのは、事業所数と同様に生産業者から仕入れ産業用使用者、国外へ販売する経路。

(2) 第2次卸の動向

- ・事業所数は前回は▲0.4%の減少、年間商品販売額は同10.1%の増加、従業者数は同0.3%の増加となった。

事業所数

- ・流通段階の最後を担う「最終卸(主に卸売業者から仕入れ、卸売業者以外の需要者へ販売)」「第2次卸に占める割合70.0%」は前回は▲0.2%の減少、「中間卸(主に卸売業から仕入れ、卸売業者へ販売)」は同▲0.7%の減少。
- ・減少寄与が大きいのは、卸売業者から仕入れ小売業者や産業用使用者へ販売する経路。

年間商品販売額

- ・「第2次卸」の6割を占める「最終卸」は前回は17.4%の増加、「中間卸」は同▲1.5%の減少。
- ・増加寄与が大きいのは、卸売業者から仕入れ産業用使用者や小売業者へ販売する経路。

従業者数

- ・「第2次卸」の7割近くを占める「最終卸」は前年比 1.0%の増加、「中間卸」は同▲1.4%の減少。
- ・増加寄与が大きいのは、卸売業者から仕入れ小売業者や産業用使用者へ販売する経路。

(3) その他の卸の動向

- ・事業所数は前年比▲17.2%の減少、年間商品販売額は同▲2.3%の減少、従業者数は同▲15.0%の減少といずれも減少となった。

事業所数

- ・「仕入先が同一企業内本支店である卸」が、「その他の卸」の96%を占める。
- ・前年比では、「仕入先が同一企業内本支店である卸」が▲17.1%の減少をはじめ、「販売先が同一企業内本支店である卸」、「仕入先が自店内製造品である卸」すべてで減少。
- ・減少寄与が大きいのは、同一企業内の本支店から仕入れ小売業者や産業用使用者へ販売する経路。

年間商品販売額

- ・「仕入先が同一企業内本支店である卸」が、「その他の卸」の85%を占める。
- ・前年比では、「仕入先が同一企業内本支店である卸」が▲10.2%の減少、「仕入先が自店内製造品である卸」も同▲49.1%の減少、「販売先が同一企業内本支店である卸」は増加。
- ・減少寄与が大きいのは、同一企業内の本支店から仕入れ小売業者や卸売業者へ販売する経路。

従業者数

- ・「仕入先が同一企業内本支店である卸」が、「その他の卸」の約90%を占める。
- ・前年比では、「仕入先が同一企業内本支店である卸」が▲18.8%の減少、「仕入先が自店内製造品である卸」も減少、「販売先が同一企業内本支店である卸」は増加。
- ・減少寄与が大きいのは、同一企業内の本支店から仕入れ小売業者や卸売業者へ販売する経路。

3. 従業者規模別にみた卸売業（法人）

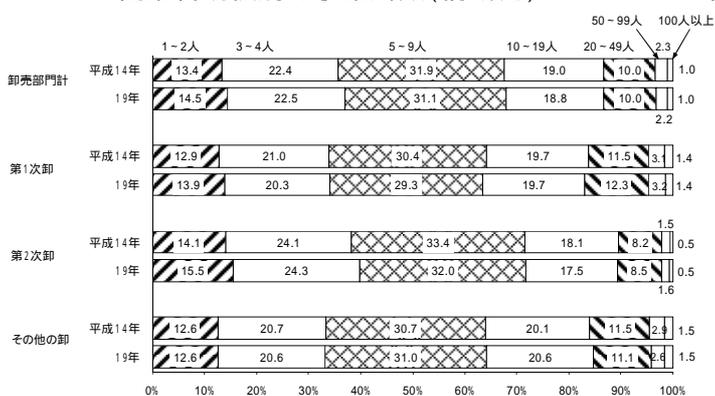
(1) 従業者数

- ・流通段階別に従業者規模別の事業所数をみると、「第1次卸」、「第2次卸」、「その他の卸」いずれも従業者規模が10人未満の事業所が6割以上を占めている。なかでも、「第2次卸」は10人未満の規模の事業所が71.8%と高い。

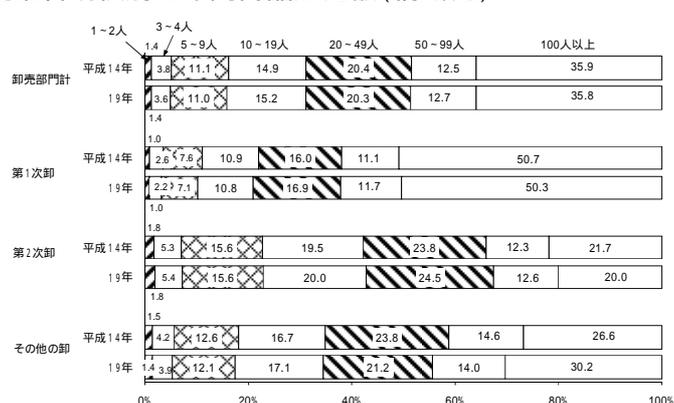
(2) 年間商品販売額

- ・流通段階別に従業者規模別年間商品販売額をみると、100人以上の規模の年間商品販売額が全体の35.8%と3分の1強を占めている。なかでも、「第1次卸」は100人以上の規模が構成比50.3%と5割を超えている。事業所数で6割以上を占める10人未満の規模は、年間商品販売額では同16.0%にとどまっている。

従業者規模別の事業所数（構成比）



従業者規模別の年間商品販売額（構成比）



参考：流通経路と流通段階の関係

